

環境クリエイター TakasaGo!

 高砂熱学

2022年5月19日

# 2022年3月期決算説明会

高砂熱学工業株式会社

1. 2022年3月期 連結決算概要  
2023年3月期 連結業績予想・株主還元

財務・IR統括部長 森野 正敏 P.2

2. 中期経営計画の取り下げ・新ビジョン策定について

3. 高砂熱学が取り組む E S G ・ S D G s の進捗  
カーボンニュートラルに向けた取り組みの進捗

社長 C O O 小島 和人 P.9

Appendix. 資料集

P.20

## 2022年3月期 連結業績サマリー

増収増益により通期業績計画達成 (計画比:売上高+0.9%、営業利益+4.2%、経常利益+4.3%、当期純利益+4.9%)

単体利益率の上昇により、**過去最高の売上総利益率**

(単位:百万、%)	21/3期	22/3期		
	実績	実績	増減	増減率
売上高	275,181	<b>302,746</b>	<b>+27,565</b>	<b>+10.0</b>
売上総利益 (売上総利益率)	36,845 (13.4)	<b>41,396</b> <b>(13.7)</b>	<b>+4,551</b> <b>(+0.3)</b>	<b>+12.4</b> -
営業利益 (営業利益率)	12,300 (4.5)	<b>14,383</b> <b>(4.8)</b>	<b>+2,083</b> <b>(+0.3)</b>	<b>+16.9</b> -
経常利益 (経常利益率)	13,902 (5.1)	<b>15,639</b> <b>(5.2)</b>	<b>+1,737</b> <b>(+0.1)</b>	<b>+12.5</b> -
当期純利益 (当期純利益率)	10,116 (3.7)	<b>11,535</b> <b>(3.8)</b>	<b>+1,419</b> <b>(+0.1)</b>	<b>+14.0</b> -
ROE	8.0	<b>8.7</b>	<b>+0.7</b>	-

受注高	287,501	<b>340,184</b>	<b>+52,683</b>	<b>+18.3</b>
繰越高	233,581	<b>268,887</b>	<b>+35,306</b>	<b>+15.1</b>

### ◆売上高:

各セグメントとも、単体・連結において計画通り進捗

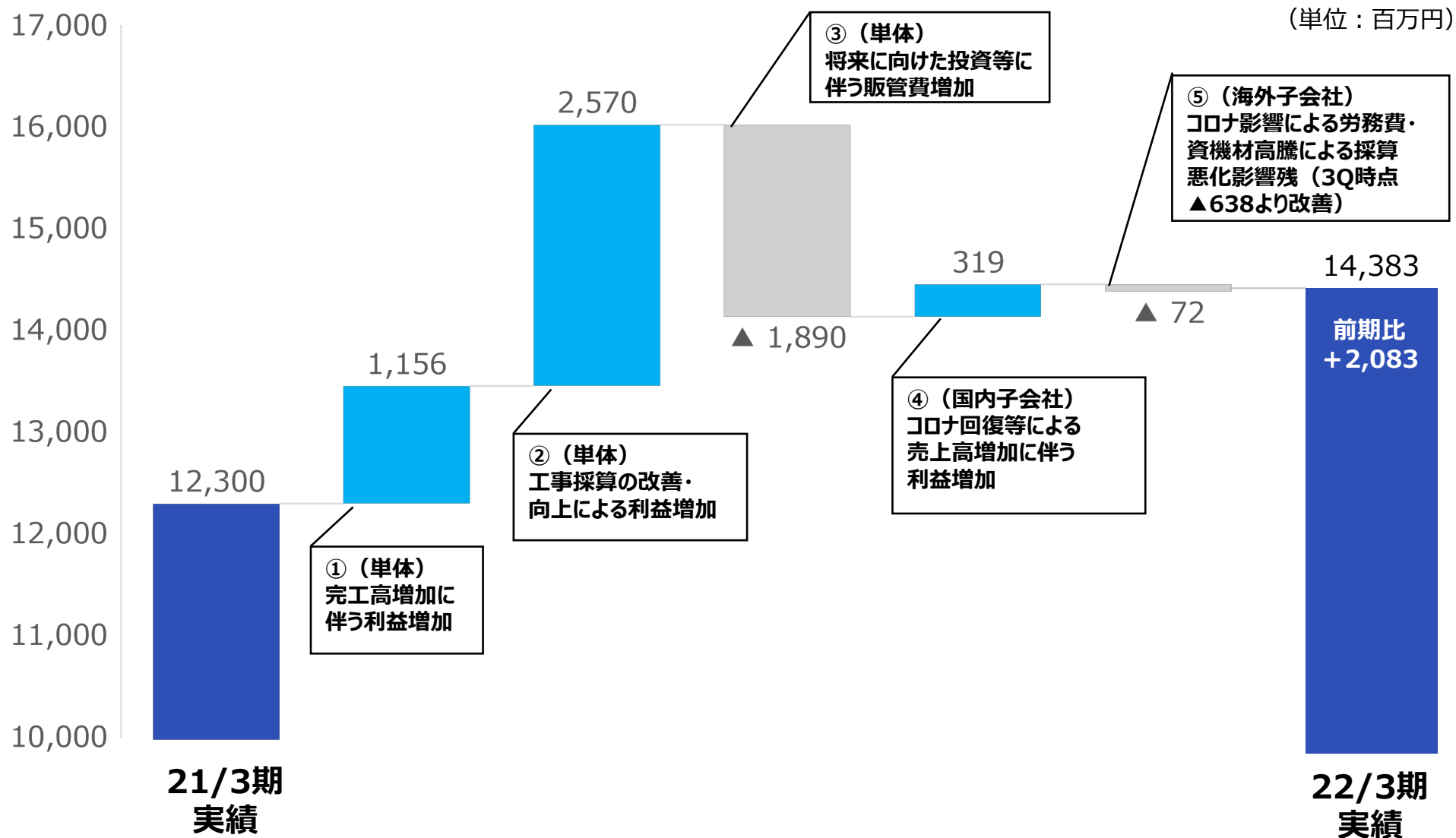
### ◆営業利益:

主に成長に向けた投資実行により販管費は増加したが、全社最適受注をはじめとした工事採算性向上への取り組み等を通じ利益増加

### ◆受注高:

豊富な情報量のもと、国内外の大型工場系(産業)空調案件を中心に、完工量や配員計画を考慮した計画的受注を実施

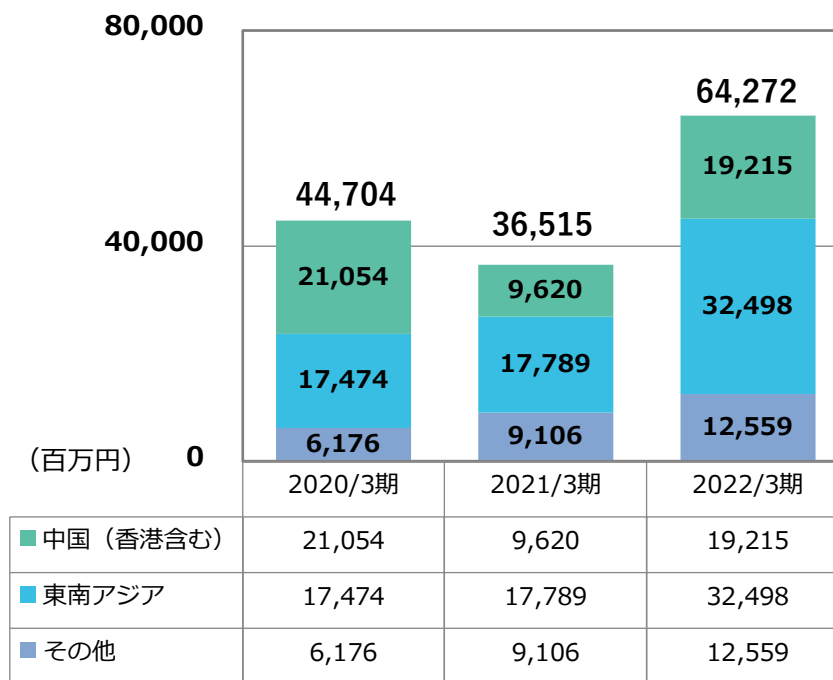
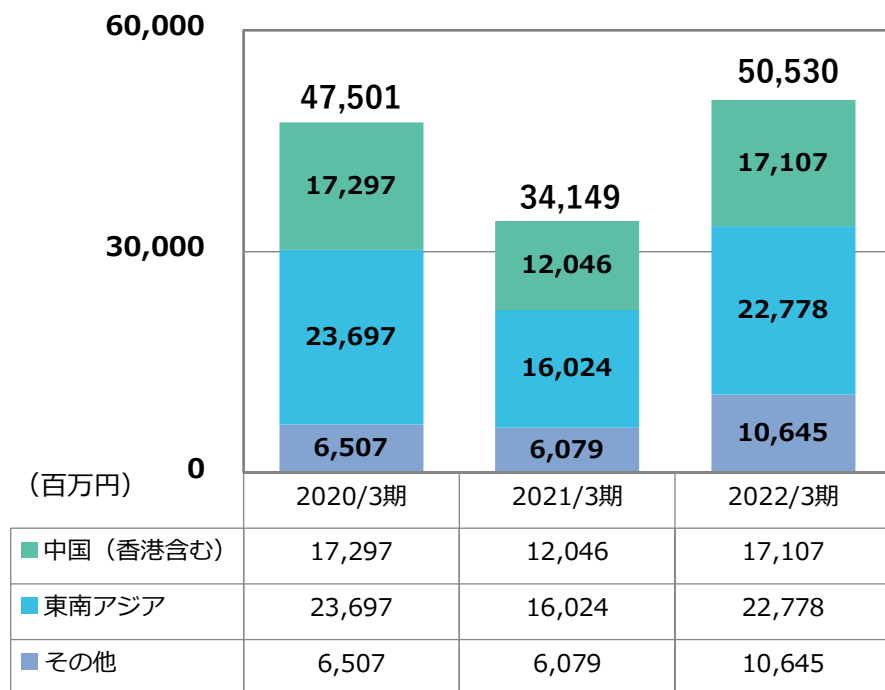
## 連結営業利益の主な増減要因（前期比）



## (補足資料) 国際事業の状況 - 地域別内訳

売上高推移

受注高推移 (注) 受注高、売上高のセグメント間取引については、調整前。



### 22/3 概況

完工：コロナ影響は地域別に違いがあるものの総じて回復途上にあり前期比+48.0%

受注：半導体・電子デバイス関連施設の建設が活況であり、前期比+76.0%

## バランスシート (前年同期比)

(単位：百万円)

	2021年 3月末	2022年 3月末	増減
流動資産	196,511	228,208	+31,697
現金・預金等	64,127	56,960	▲7,167
売上債権等 ※1	120,828	158,944	+38,116
その他	11,555	12,304	+749
固定資産	27,734	28,864	+1,130
投資その他資産	46,900	43,663	▲3,237
総資産	271,146	300,736	+29,590

※1 ⇒ 受取手形・完成工事未収入金等、電子記録債権

※2 ⇒ 支払手形・工事未払金等、電子記録債務

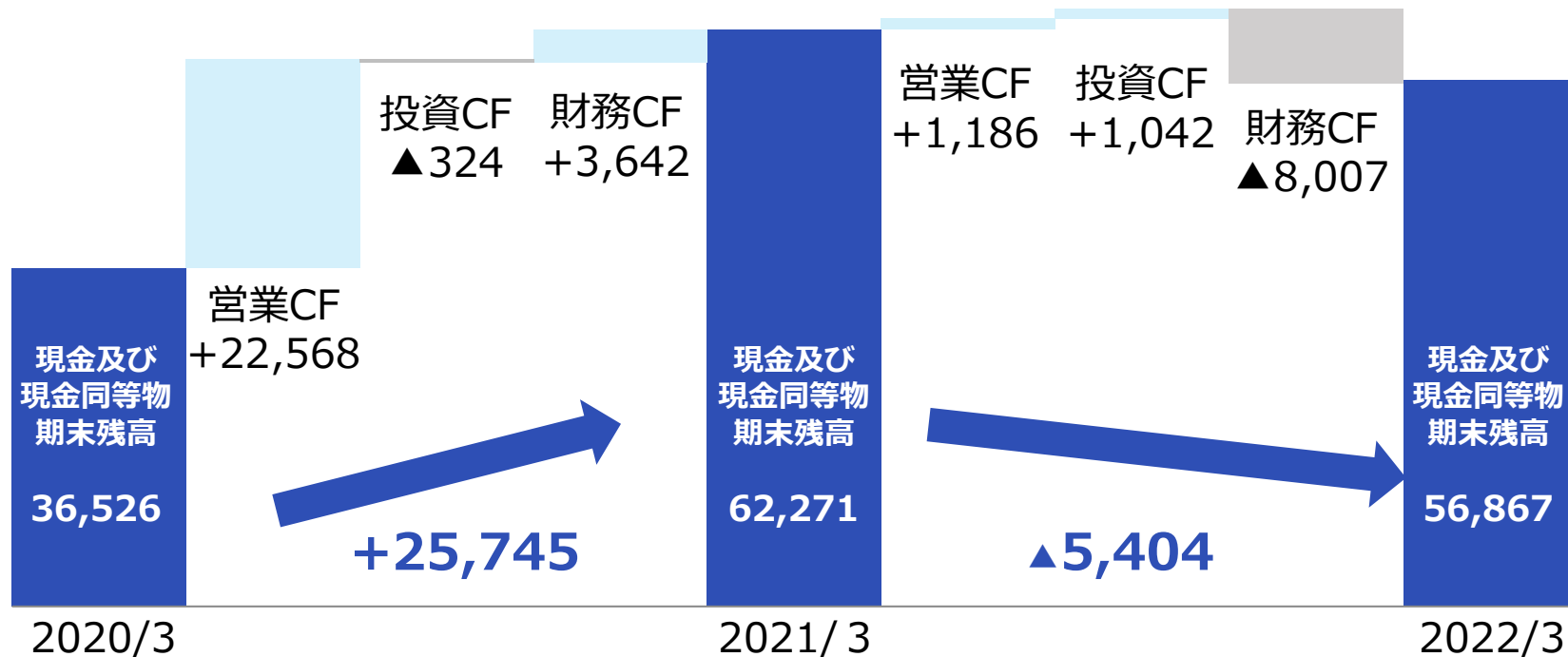
	2021年 3月末	2022年 3月末	増減
流動負債	105,408	134,342	+28,934
仕入債務等 ※2	72,958	86,272	+13,314
工事損失引当金	2,700	2,018	▲682
短期借入金	4,933	8,058	+3,125
未成工事受入金	4,820	16,116	+11,296
その他	19,997	21,878	+1,881
固定負債	29,888	29,496	▲392
社債	25,000	25,000	0
その他	4,888	4,496	▲392
純資産	135,849	136,897	+1,048
負債・純資産	271,146	300,736	+29,590
自己資本	132,135	132,897	+762
自己資本比率	48.7%	44.2%	▲4.5%

# キャッシュ・フロー

## 現金及び現金同等物期末残高の推移

(単位：百万円)

(注) 現金及び現金同等物に係る換算差額除く



- ◆ 営業CF: 当期純利益が増加するも、売上債権増加等により+1,186
- ◆ 財務CF: 自己株式取得のための支出や配当金の支払等により▲8,007

## 2023年3月期 連結業績予想

- ◆ 大型の工場物件ならびに再開発案件の順調な進捗を見込むとともに、**施工体制強化と生産性向上に資する取り組みにより、前期比増収・売上総利益は増益の計画**
- ◆ ESGやカーボンニュートラルに向けた取り組みは益々重要性を増してきており、**将来の成長に向けた「環境事業」ならびに競争力の源泉となる「人的資本」への投資を一層強化**。そのため営業利益以下の各段階利益は減益の計画
- ◆ 工場系（産業）空調を中心に豊富な情報量のもと、**働き方改革に向け配員計画等を考慮した計画的受注を実施**
- ◆ 資機材不足による納期遅延や資機材価格の動向、ならびに現場工程の遅延に注意を払い、情報の早期収集と迅速な対応を図り影響回避に努める

(単位：百万円、%)	22/3期		23/3期			
	2Q 実績	通期 実績	2Q予想	通期予想	前期比増減	増減率
売上高	122,275	302,746	146,000	311,000	+8,254	+2.7
売上総利益 (売上総利益率)	14,472 (11.8)	41,396 (13.7)	—	43,000 (13.8)	+1,604 (+0.1)	+3.9 —
営業利益 (営業利益率)	2,231 (1.8)	14,383 (4.8)	2,200 (1.5)	13,100 (4.2)	▲1,283 (▲0.6)	▲8.9 —
経常利益 (経常利益率)	3,055 (2.5)	15,639 (5.2)	2,700 (1.8)	14,500 (4.7)	▲1,139 (▲0.5)	▲7.3 —
当期純利益 (当期純利益率)	1,786 (1.5)	11,535 (3.8)	2,000 (1.4)	10,800 (3.5)	▲735 (▲0.3)	▲6.4 —
ROE	—	8.7	—	8.0以上	—	—
受注高	153,921	340,184	138,000	280,000	▲60,184	▲17.7



## 株主還元

- 配当
  - ✓ 期末配当金を29円から31円に増配、年間60円
  - ✓ 2022年度も同水準

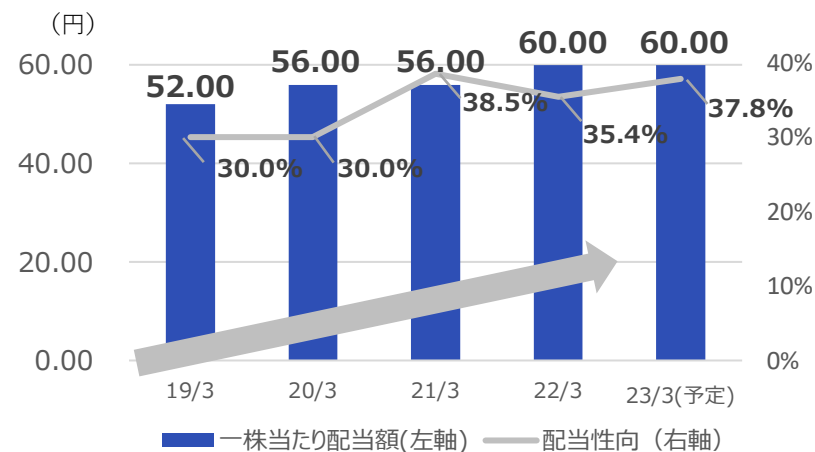
	2020年度 実績	2021年度 予想	2021年度 実績	2022年度 予想
1株当たり 年間配当金	56円	58円	60円	60円
1株当たり 当期純利益	145.56 円	158.26 円	169.38 円	158.57 円
配当性向	38.5%	36.6%	35.4%	37.8%

- 自己株式取得
  - ✓ 2021年度は60億円の自己株式取得を実施済  
(取得株数297万株、21年8月～22年2月)

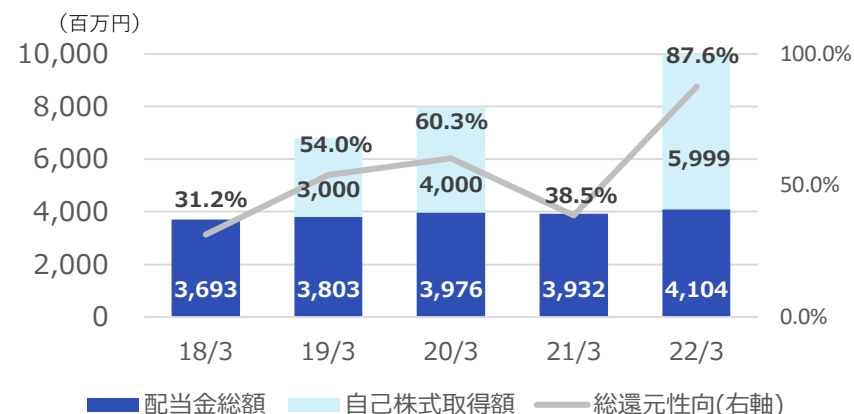
### <株主還元に関する基本方針>

配当による株主還元を基本とし、減配を行わず当社グループの利益成長に応じて配当を増やしていく方針。自己株式の取得は中長期的に株主価値および企業価値を高める観点より、財務健全性と資本効率を踏まえつつ、市場環境や資本水準、事業投資機会等を総合的に勘案し機動的に実施。

### 配当の推移



### 配当金総額・自己株式取得額・総還元性向の実績推移



## 2. 中期経営計画取り下げ・新ビジョン策定について

社長COO  
小島 和人

環境クリエイター® TakasaGo!

 高砂熱学

# 中期経営計画取り下げの背景とこれまでの進捗状況

iNnovate on  
2023 go beyond

## 事業の根幹

ESGとエンゲージメントへの取り組み

## 3つの成長戦略

国内事業の強靱化

国際事業の変革

環境事業の挑戦

## 進捗状況

### 取り組み効果

・国内事業の強靱化では、全社最適受注・施工プロセスへの変革に  
取り組み、足許での工事採算性が向上

### 外部環境の変化

1. ESG・カーボンニュートラルへの  
取り組み加速
2. 新型コロナウイルス感染拡大  
影響の長期化
3. 国際情勢変化によるサプライ  
チェーン・為替相場への影響

### 事業への影響

・半導体・電子部品不足等による  
資機材の納期遅延  
・資機材価格・労務費の高騰  
ならびに建築工程遅延

## さらなる取り組み強化

ESG・カーボンニュートラルに向けた取り組みが益々重要性を増している  
足許の状況を好機と捉え、

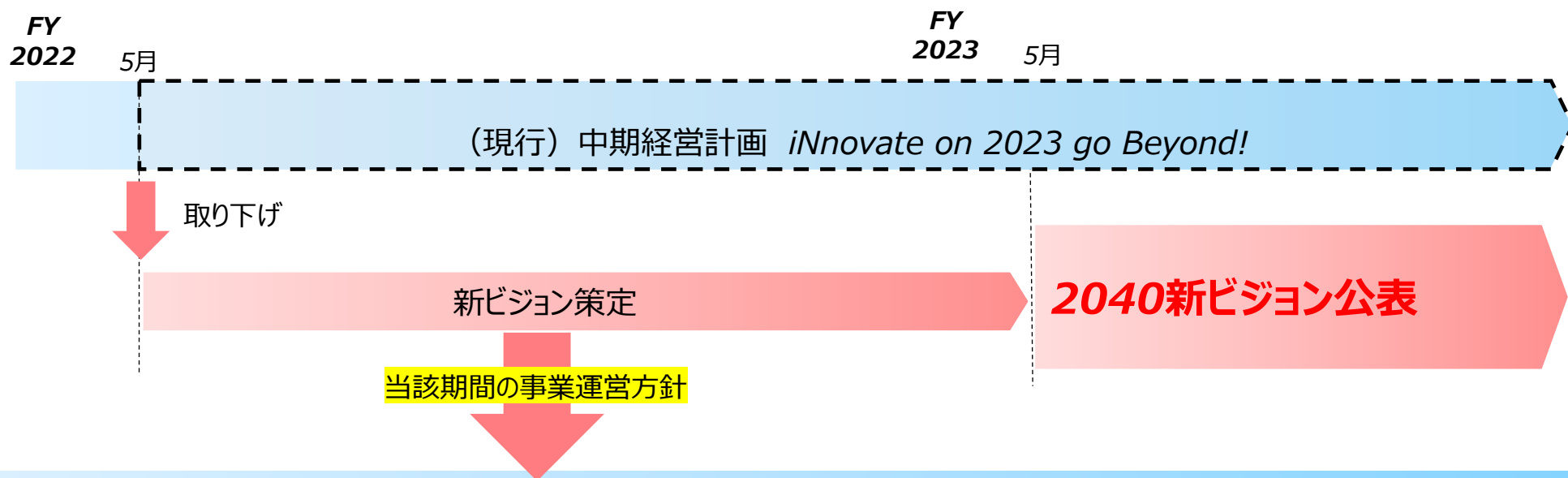
- ・「環境事業」に向けた投資の推進
- ・「人的資本」への投資を推進

中期経営計画  
取り下げへ

## 中期経営計画KGIと成長投資・配当方針の取扱い

連結売上高	2023年度   <b>3,250億円</b>	取り下げ
連結経常利益（率）	2023年度   <b>200億円（6.2%）</b>	取り下げ
自己資本比率（連結）	2023年度   <b>43.0%以上</b>	取り下げ
ROE（連結）	2023年度   <b>10.0%以上</b>	取り下げ
CO2排出量（スコープ1・2） （単体）	2023年度   <b>▲10%以上</b> （FY19対比） （スコープ全体 ▲5%以上）	見直しを検討 ※ ▲1.5℃目標に改訂を視野
投資枠（単体）	4年間累計   <b>600億円</b> 程度 生産性向上(DX)投資 150億円 成長へ向けた投資 450億円	投資枠は計画通り 投資を加速
配当方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象期間中は減配を行わず、当社グループの利益成長に応じ、配当を増加する</li> <li>● 自己株式の取得は中長期的に株主価値および企業価値を高める観点より、財務健全性と資本効率を踏まえつつ、市場環境や資本水準、事業投資機会等を総合的に勘案し機動的に実施</li> </ul>	変更なし

# 今後のビジョン策定スケジュールと2022年度の事業運営方針



## ～2022年度（中期経営計画の取り下げ期間中）の事業運営方針について～

- ・iNnovate on 2023 go beyond!の成長戦略（国内事業の強靱化・国際事業の変革・環境事業への挑戦）を継続実行
- ・ESG・カーボンニュートラルへの取り組み強化に向け、環境事業や人的資本への投資を加速・推進
- ・株主還元方針は2023年度まで継続

# 3. 高砂熱学が取り組む ESG・SDGs カーボンニュートラルに向けた取り組みの進捗

社長COO  
小島 和人

環境クリエイター® TakasaGo!

 高砂熱学

## ●2022年4月～「カーボンニュートラル事業開発部」創設

1. コア事業と水素事業を融合した  
カーボンニュートラル事業の開発を目指す
2. 循環型社会の新たなビジネスモデルの構築を目指す



⇒コア事業における取り組みの強化を並行して実施  
SBT認証企業等を中心にCO<sub>2</sub>削減提案を継続実施

・ SBT認証・コミット企業からの受注（単体）⇒全体に占める割合 **約4割**

(2018年～2022年 4ヶ年平均)

## ●石狩市厚田地区における水素事業の社会実装第1号プロジェクト

⇒NIKKEI脱炭素アワード2021「プロジェクト部門・大賞」を受賞（2022.3）

⇒地域のマイクログリッドシステムを当社100%出資会社にて運営開始（2022.4）

## ●DX戦略・BIM推進：Autodesk社との戦略的提携に関する覚書締結（2022.2）

## ●施工プロセスの変革：T-Base<sup>®</sup>本格稼働開始（2022.4）

E

S  
G

## 高砂熱学が取り組む ESG・SDGs の進捗

- 多様な人財の登用・多様性の推進  
女性やキャリア採用等の長期的な管理職登用目標を設定  
CGコードにて公表(2021.12)



- S ●健康経営・働き方改革の推進  
「健康経営銘柄2022」・「健康経営優良法人2022  
(ホワイト500)」に認定 (2022.2)



- ガバナンスの強化
  - : 社外取締役の比率引き上げ (50.0% ⇒ 54.5%へ) (2022.1)  
2022年6月開催予定の株主総会における社外取締役選任議案の承認可決を以って実施
- G : 政策保有株式の圧縮 (2021年度実績 : 13銘柄売却)
- : 2021年度ESG推進委員会7回開催  
(テーマ : TCFD開示・サステナビリティ課題対応他)
- : 経済産業省より「DX認定事業者」に認定 (2022.4)





## E : 水素事業 社会実装化に向けた取り組み

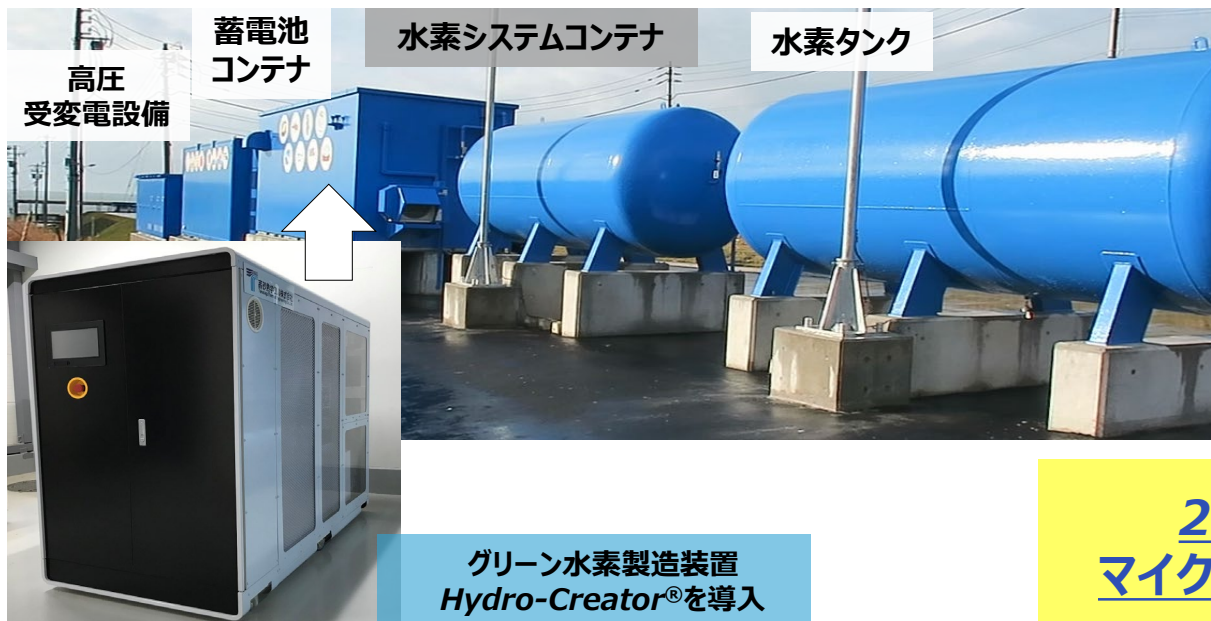
事業名称 : エネルギー地産地消事業化モデル支援事業  
施主 : 北海道 石狩市 様  
工事期間 : 2020年11月～2022年3月  
工事概要 : 基礎土地造成、電気設備、太陽光発電設備、**水素システム**

NIKKEI脱炭素アワード2021にて  
プロジェクト部門「大賞」を受賞

つくる

ためる

つかう



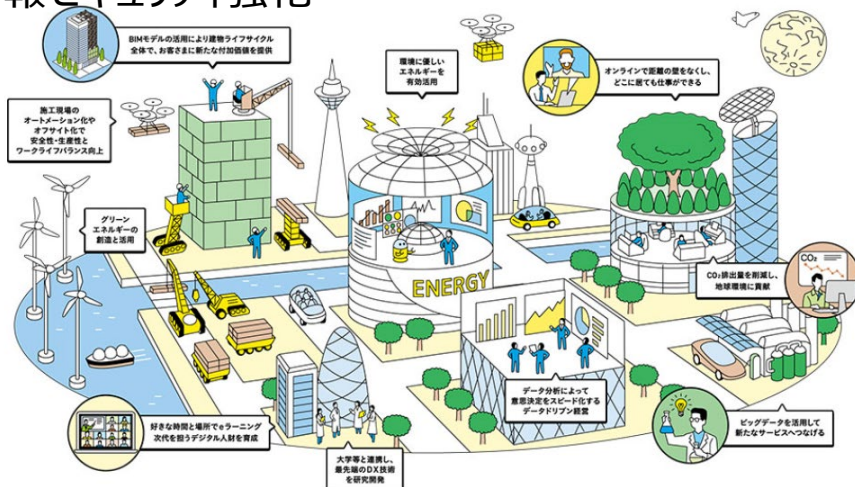
2022年4月～10年間に亘り  
マイクログリッドシステム運営事業を開始

# E S : DX戦略・BIMの推進

## 2022年2月：3D技術を使ったデザイン・設計、エンジニアリング、エンターテインメント向けソフトウェアのリーディング企業であるAUTODESK社（米）との業務提携を締結

### DX戦略の具体的な取組み

- EMSを基軸としたFM領域での脱炭素化支援
- BIMを中核とした高付加価値建物・ライフサイクルマネジメントの実現
- DXによる働き方改革
- デジタル人材育成
- 情報セキュリティ強化



高砂熱学と Autodesk、国内設備企業初の戦略的提携に関する覚書(MOU)締結  
DXの重要施策として BIM ソフト「Autodesk® Revit」を導入  
建設業界全体の標準化推進に寄与

高砂熱学工業株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長 COO:小島 和人、以下、高砂熱学)と、米国 Autodesk 社(本社:米国カリフォルニア州/プレジデント兼 CEO:アンドリュー・アナグノスト、以下、Autodesk)は、設備業界の標準化を展望した新しい BIM システム構築に向け、戦略的提携に関する覚書(MOU)を締結しました。なお、Autodesk と国内設備企業との提携は今回初となります。

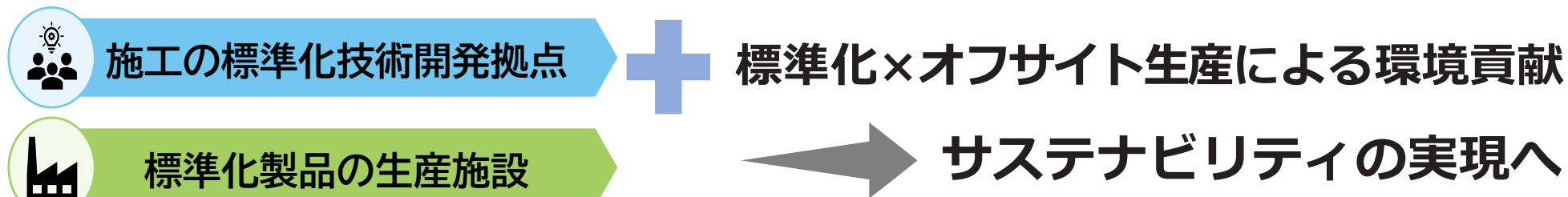


左から、オートデスク 織田社長・高砂熱学 小島社長

2022.2.17  
プレスリリース抜粋

# E S : コア事業における取り組み 施工プロセスの変革T-Base®

## | T-Base® 5つの機能と環境貢献



2022年4月から T-Base®を本格稼働開始

9 設備と技術革新の促進を図ろう  
11 組み分けられる部材をつくらせよう  
12 つくも責任つくり責任

- 標準化技術メニューの企画・開発
- T-Base®メニューの採用・実践

企画・開発

建設現場



T-Base®

教育

8 働きがいも経済成長も

- 若手現場員の実物による実践教育
- 高和会作業員のスキルアップ演習

外部連携活動

8 働きがいも経済成長も  
15 緑の豊かさも増やそう

- メーカー・代理店と協業した生産性向上への取組
- セントラル生産システムを利用したサプライヤー連携強化

生産・ロジスティクス

8 働きがいも経済成長も  
13 気候変動に具体的な対策を

- T-Base®メニュー生産・輸送の効率化
- ダイバーシティ&インクルージョン (女性・シニアの活躍推進)

環境貢献

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  
13 気候変動に具体的な対策を  
15 緑の豊かさも増やそう

- 再生可能エネルギー電力利用
- 梱包材削減によるサーキュラーエコノミーの実践

# Appendix. 資料集

環境クリエイター® TakasaGo!

 高砂熱学

## E : メガストック™ ~コージェネ大賞2021 産業用部門優秀賞受賞~

主催 : 一般財団法人 コージェネレーション・エネルギー高度利用センター

### 受賞事例名

: コージェネ低温排熱活用による生産設備省エネ化と高密度蓄熱システムによるオフライン熱輸送  
~日野自動車羽村工場での改善事例~

### 共同受賞社

: 日本ファシリティ・ソリューション(株)様、日野自動車(株)様、東京電力エナジーパートナー(株)様

### 取り組みポイント

- ① 工場の電力・熱需要に合わせた最適なシステム構築と排熱利用先創出による省エネ実現  
→ 工場の電力・熱需要に適した**ガスコージェネ**へ更新。コージェネの排温水を、工場内の塗装前処理工程、塗装ブース空調に利用
- ② 低温排熱を利用する高密度蓄熱システム導入  
→ 活用困難であった100℃程度の低温排熱利用。

### 効果

- ・ 一次エネルギー削減率 22.7%達成
- ・ CO<sub>2</sub>排出量 4,830ton/年 削減を実現



2022.2.4受賞式にて 写真 最右が当社、研究開発本部長 山分

建設業  
1969

高砂熱学

初選定

## 高砂熱学工業株式会社

Well-being カンパニーへ、着実に進む健康風土づくり。  
プレゼンティーズムをKPIとして多角的な取り組みを実施

高砂熱学工業株式会社は、「Well-being カンパニー」の実現を掲げ、社員の自律的な健康管理を支援し、社員と会社が共に成長することを目指しています。中計最終年度の2023年までに長期病欠者を50%以下に減らすことを重点課題として、KPIに定める一人当たりのプレゼンティーズム額を経年的に減少させるべく取り組みを進めています。

従業員のパフォーマンス向上を目指し、ストレッチの実施や定期健診の有効活用法など、月替わりのテーマでさまざまな健康情報を提供。職場においては、昼休みの仮眠推奨や自動販売機の飲料に糖分量を表示するなど、身近なところから自律を促す工夫を行っています。

一人ひとりの健康意識向上を促すだけでなく、労使や経営層が残業時間削減に向けて積極的な議論を行うなど、全社を挙げた取り組みが奏功し、プレゼンティーズム額は2019年度→20年度で4%減少しました。



(左)Well-beingカンパニーを目指して経営トップが発表した「健康宣言」  
(上)活発な健康管理室内オンラインミーティングを実施

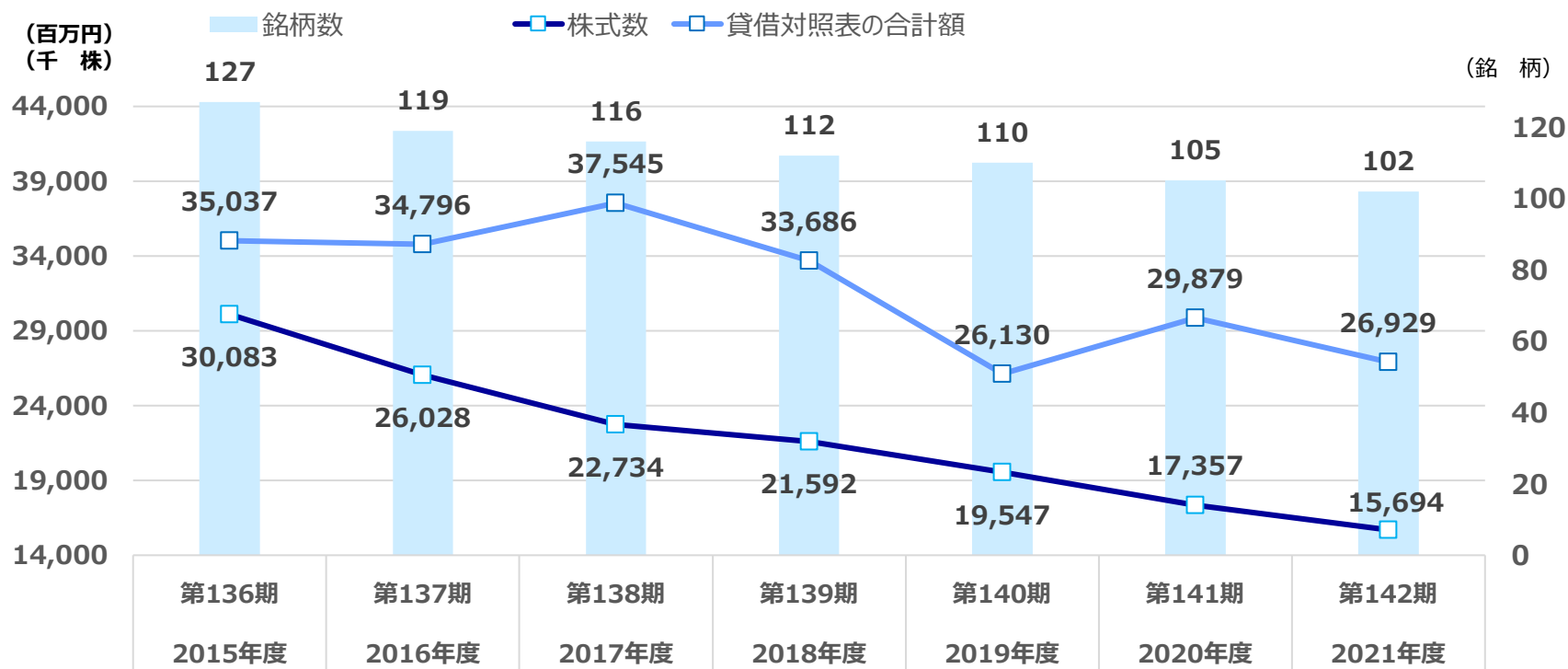
### 管理職への研修でラインケア能力アップ

メンタルヘルス対策として、疾病の発生予防とともにエンゲイジメント向上につながる環境づくりに注力。なかでも、部門長を対象に実施したラインケア研修では、事後アンケート項目のすべて（満足度・納得度・理解度・できる感）で高評価の回答が得られた。

健康経営銘柄2022 選定企業紹介レポート抜粋

## G : 純投資目的以外の目的で保有する株式の銘柄数、株式数、バランスシート計上額推移

区分	年度	第136期 2015年度	第137期 2016年度	第138期 2017年度	第139期 2018年度	第140期 2019年度	第141期 2020年度	第142期 2021年度
銘柄数	(銘柄)	127	119	116	112	110	105	102
株式数	(千株)	30,083	26,028	22,734	21,592	19,547	17,357	15,694
貸借対照表の合計額	(百万円)	35,037	34,796	37,545	33,686	26,130	29,879	26,929





## 受注および販売の状況（単体・子会社別業績）

（単位：百万円、％）

		2020/3期	2021/3期	2022/3期	
		実績	実績	実績	増減率
受注高	単体	222,526	222,444	<b>241,917</b>	<b>+8.8</b>
	国内子会社	40,190	37,862	<b>41,172</b>	<b>+8.7</b>
	海外子会社	44,704	36,515	<b>64,272</b>	<b>+76.0</b>
	調整額	▲9,538	▲9,321	<b>▲7,177</b>	－
	合計	297,883	287,501	<b>340,184</b>	<b>+18.3</b>
売上高	単体	242,951	211,731	<b>220,622</b>	<b>+4.2</b>
	国内子会社	40,367	38,285	<b>40,906</b>	<b>+6.8</b>
	海外子会社	47,501	34,149	<b>50,530</b>	<b>+48.0</b>
	調整額	▲9,925	▲8,984	<b>▲9,312</b>	－
	合計	320,893	275,181	<b>302,746</b>	<b>+10.0</b>
連単倍率（売上高）		1.32倍	1.30倍	<b>1.37倍</b>	

## 受注および販売の状況（連結・事業別）

（単位：百万円、％）

			2020/3期		2021/3期		2022/3期		
			実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	増減率
受注高	設備工事	一般設備	164,062	55.1	155,527	54.1	<b>159,543</b>	<b>46.9</b>	<b>+2.6</b>
		産業設備	126,538	42.4	126,091	43.9	<b>173,578</b>	<b>51.0</b>	<b>+37.7</b>
	設備機器の製造・販売		7,129	2.4	5,749	2.0	<b>6,976</b>	<b>2.1</b>	<b>+21.3</b>
	その他		153	0.1	132	0.0	<b>86</b>	<b>0.0</b>	<b>▲34.5</b>
	合計		297,883	100.0	287,501	100.0	<b>340,184</b>	<b>100.0</b>	<b>+18.3</b>
	（うち海外）		(47,460)	(15.9)	(35,691)	(12.4)	<b>(66,728)</b>	<b>(19.6)</b>	<b>(+87.0)</b>
	（うち保守・メンテナンス）		(24,638)	(8.3)	(23,877)	(8.3)	<b>(25,956)</b>	<b>(7.6)</b>	<b>(+8.7)</b>
売上高	設備工事	一般設備	188,968	58.9	151,115	54.9	<b>160,202</b>	<b>52.9</b>	<b>+6.0</b>
		産業設備	125,183	39.0	118,137	42.9	<b>136,503</b>	<b>45.1</b>	<b>+15.5</b>
	設備機器の製造・販売		6,588	2.1	5,796	2.1	<b>5,953</b>	<b>2.0</b>	<b>+2.7</b>
	その他		153	0.0	132	0.1	<b>86</b>	<b>0.0</b>	<b>▲34.5</b>
	合計		320,893	100.0	275,181	100.0	<b>302,746</b>	<b>100.0</b>	<b>+10.0</b>
	（うち海外）		(47,749)	(14.9)	(34,311)	(12.5)	<b>(50,631)</b>	<b>(16.7)</b>	<b>(+47.6)</b>
	（うち保守・メンテナンス）		(25,056)	(7.8)	(24,194)	(8.8)	<b>(25,446)</b>	<b>(8.4)</b>	<b>(+5.2)</b>
繰越高	設備工事	一般設備	142,836	64.5	147,248	63.0	<b>145,066</b>	<b>54.0</b>	<b>▲1.5</b>
		産業設備	76,957	34.8	84,911	36.4	<b>121,376</b>	<b>45.1</b>	<b>+42.9</b>
	設備機器の製造・販売		1,468	0.7	1,421	0.6	<b>2,444</b>	<b>0.9</b>	<b>+72.0</b>
	合計		221,261	100.0	233,581	100.0	<b>268,887</b>	<b>100.0</b>	<b>+15.1</b>
	（うち海外）		(28,073)	(12.7)	(29,453)	(12.6)	<b>(45,550)</b>	<b>(16.9)</b>	<b>(+54.7)</b>
	（うち保守・メンテナンス）		(1,766)	(0.8)	(1,449)	(0.6)	<b>(1,909)</b>	<b>(0.7)</b>	<b>(+31.7)</b>

（注）受注高、売上高および繰越高のセグメント間取引については、相殺消去している。

# 四半期別受注・売上実績（連結）

（単位：億円、％）

	受注					売上					
	2021/3期		2022/3期		増減率	2021/3期		2022/3期		増減率	
	四半期	累計	四半期	累計		四半期	累計	四半期	累計		
1Q	設備工事業	715	715	768	768	+7.4	524	524	542	542	+3.3
	一般設備	468	468	462	462	▲1.4	306	306	299	299	▲2.0
	産業設備	247	247	306	306	+23.9	218	218	242	242	+10.7
	設備機器の製造・販売事業	16	16	14	14	▲11.9	9	9	13	13	+37.7
	その他	0	0	0	0	▲15.3	0	0	0	0	▲15.3
	合計	732	732	783	783	+6.9	535	535	555	555	+3.9
	(うち海外)	(55)	(55)	(125)	(125)	(+126.3)	(60)	(60)	(94)	(94)	(+55.9)
(うち保守・メンテナンス)	(62)	(62)	(73)	(73)	(+18.5)	(47)	(47)	(54)	(54)	(+13.2)	
2Q	設備工事業	634	1,350	739	1,507	+11.7	627	1,151	653	1,195	+3.8
	一般設備	367	836	433	895	+7.1	342	648	368	668	+3.1
	産業設備	266	513	305	611	+19.1	284	503	284	526	+4.6
	設備機器の製造・販売事業	13	29	16	30	+3.8	14	23	13	26	+13.7
	その他	0	1	0	0	▲33.8	0	1	0	0	▲33.8
	合計	648	1,380	756	1,539	+11.5	641	1,176	667	1,222	+3.9
	(うち海外)	(127)	(183)	(103)	(229)	(+25.0)	(88)	(148)	(101)	(195)	(+31.6)
(うち保守・メンテナンス)	(54)	(116)	(56)	(130)	(+11.8)	(57)	(105)	(63)	(118)	(+12.3)	
3Q	設備工事業	553	1,903	791	2,299	+20.8	698	1,849	762	1,957	+5.9
	一般設備	281	1,117	307	1,203	+7.6	367	1,015	438	1,106	+9.0
	産業設備	272	785	484	1,096	+39.5	330	833	323	850	+2.0
	設備機器の製造・販売事業	13	42	16	47	+10.8	16	39	16	43	+8.9
	その他	0	1	0	0	▲36.1	0	1	0	0	▲36.1
	合計	567	1,947	808	2,347	+20.5	714	1,890	778	2,001	+5.9
	(うち海外)	(82)	(265)	(159)	(388)	(+46.5)	(74)	(223)	(101)	(297)	(+33.2)
(うち保守・メンテナンス)	(57)	(173)	(59)	(190)	(+9.5)	(62)	(168)	(66)	(184)	(+9.8)	
4Q	設備工事業	913	2,816	1,031	3,331	+18.3	843	2,692	1,009	2,967	+10.2
	一般設備	438	1,555	392	1,595	+2.6	496	1,511	495	1,602	+6.0
	産業設備	475	1,260	639	1,735	+37.7	348	1,181	514	1,365	+15.5
	設備機器の製造・販売事業	15	57	22	69	+21.3	18	57	16	59	+2.7
	その他	0	1	0	0	▲34.5	0	1	0	0	▲34.5
	合計	928	2,875	1,054	3,401	+18.3	861	2,751	1,025	3,027	+10.0
	(うち海外)	(91)	(356)	(278)	(667)	(+87.0)	(120)	(343)	(209)	(506)	(+47.6)
(うち保守・メンテナンス)	(65)	(238)	(69)	(259)	(+8.7)	(73)	(241)	(70)	(254)	(+5.2)	

## 業績サマリー（個別）

（単位：百万円、％）

	2020/3期	2021/3期	2022/3期		
	実績	実績	実績	増減	増減率
売上高	242,951	211,731	<b>220,622</b>	<b>+8,890</b>	<b>+4.2</b>
売上総利益 （売上総利益率）	31,576 (13.0)	27,261 (12.9)	<b>31,075</b> <b>(14.1)</b>	<b>+3,814</b> <b>(+1.2)</b>	<b>+14.0</b> -
営業利益 （営業利益率）	14,878 (6.1)	10,870 (5.1)	<b>12,794</b> <b>(5.8)</b>	<b>+1,923</b> <b>(+0.7)</b>	<b>+17.7</b> -
経常利益 （経常利益率）	17,169 (7.1)	13,008 (6.1)	<b>15,085</b> <b>(6.8)</b>	<b>+2,077</b> <b>(+0.7)</b>	<b>+16.0</b> -
当期純利益 （当期純利益率）	12,278 (5.1)	9,964 (4.7)	<b>11,731</b> <b>(5.3)</b>	<b>+1,766</b> <b>(+0.6)</b>	<b>+17.7</b> -

受注高	222,526	222,444	<b>241,917</b>	<b>+19,472</b>	<b>+8.8</b>
繰越高	192,562	203,275	<b>222,460</b>	<b>+19,185</b>	<b>+9.4</b>

## 工事種類別受注・完成工事高（個別）

工事種類別受注工事高（個別）

（単位：億円、％）

		2020/3期			2021/3期			2022/3期			
		2Q	通期	通期 構成比	2Q	通期	通期 構成比	2Q	通期	通期 構成比	通期 増減率
<b>合 計</b>		1,239	2,225	100.0%	1,054	2,224	100.0%	<b>1,156</b>	<b>2,419</b>	<b>100.0%</b>	<b>+8.8</b>
一般設備・ 産業設備	一般設備	802	1,404	63.1%	724	1,319	59.3%	<b>771</b>	<b>1,347</b>	<b>55.7%</b>	<b>+2.1</b>
	産業設備	437	820	36.9%	330	905	40.7%	<b>385</b>	<b>1,071</b>	<b>44.3%</b>	<b>+18.4</b>
新築・ リニューアル	新築	565	995	44.8%	367	971	43.7%	<b>398</b>	<b>982</b>	<b>40.6%</b>	<b>+1.1</b>
	リニューアル	673	1,229	55.2%	687	1,253	56.3%	<b>758</b>	<b>1,437</b>	<b>59.4%</b>	<b>+14.7</b>

工事種類別完成工事高（個別）

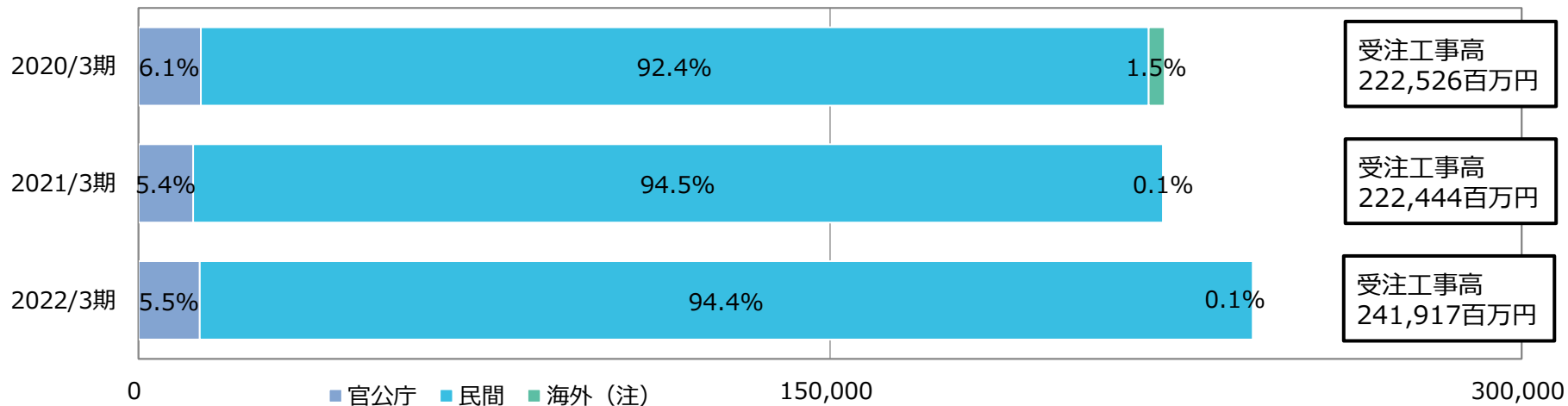
（単位：億円、％）

		2020/3期			2021/3期			2022/3期			
		2Q	通期	通期 構成比	2Q	通期	通期 構成比	2Q	通期	通期 構成比	通期 増減率
<b>合 計</b>		1,083	2,429	100.0%	899	2,117	100.0%	<b>881</b>	<b>2,206</b>	<b>100.0%</b>	<b>+4.2</b>
一般設備・ 産業設備	一般設備	740	1,653	68.1%	543	1,276	60.3%	<b>549</b>	<b>1,346</b>	<b>61.0%</b>	<b>+5.4</b>
	産業設備	343	776	31.9%	356	841	39.7%	<b>331</b>	<b>859</b>	<b>39.0%</b>	<b>+2.3</b>
新築・ リニューアル	新築	461	1,050	43.2%	396	847	40.0%	<b>380</b>	<b>943</b>	<b>42.7%</b>	<b>+11.3</b>
	リニューアル	622	1,379	56.8%	502	1,270	60.0%	<b>501</b>	<b>1,263</b>	<b>57.3%</b>	<b>▲0.1</b>

（注）当社国際G事業統括部のみの数値、海外は現地法人（連結子会社）を中心に展開している。

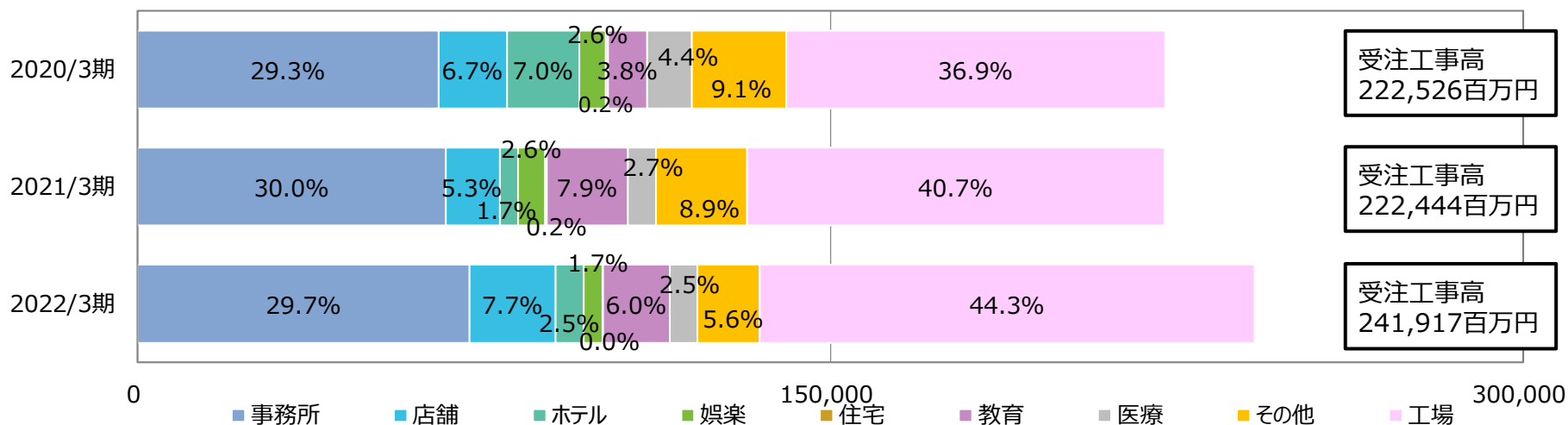
# 受注工事高内訳（個別）

## 官公庁・民間・海外



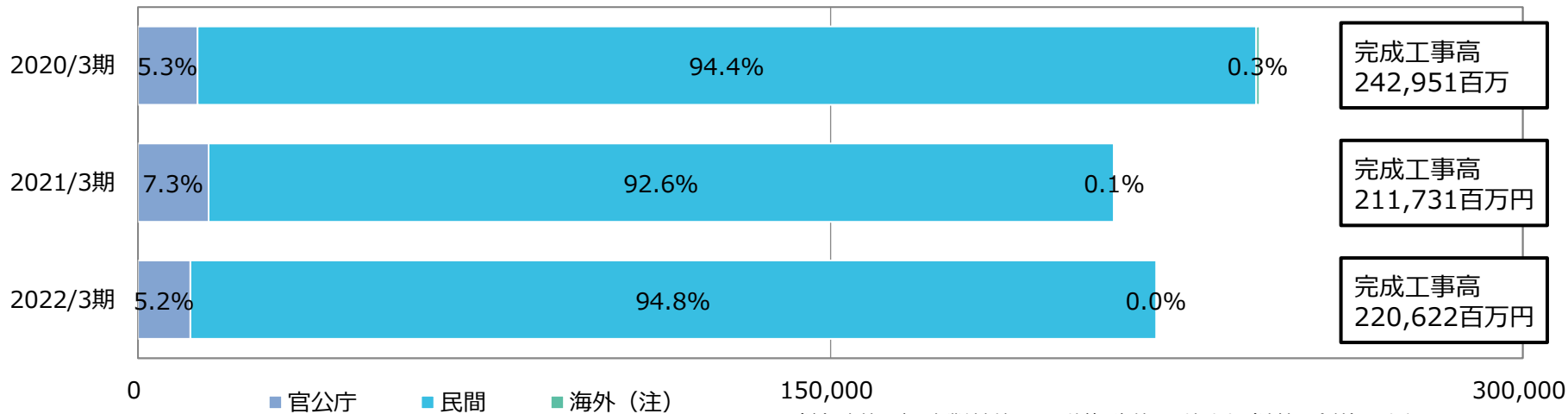
(注) 当社国際G事業統括部のみの数値、海外は現地法人（連結子会社）を中心に展開している。

## 用途別



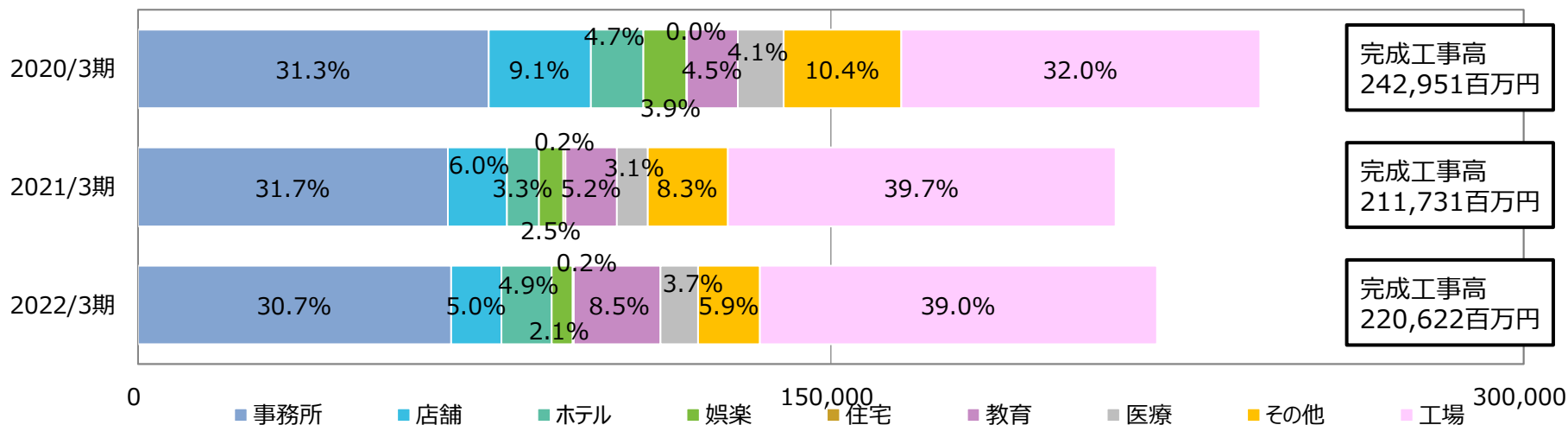
# 完成工事高内訳（個別）

## 官公庁・民間・海外



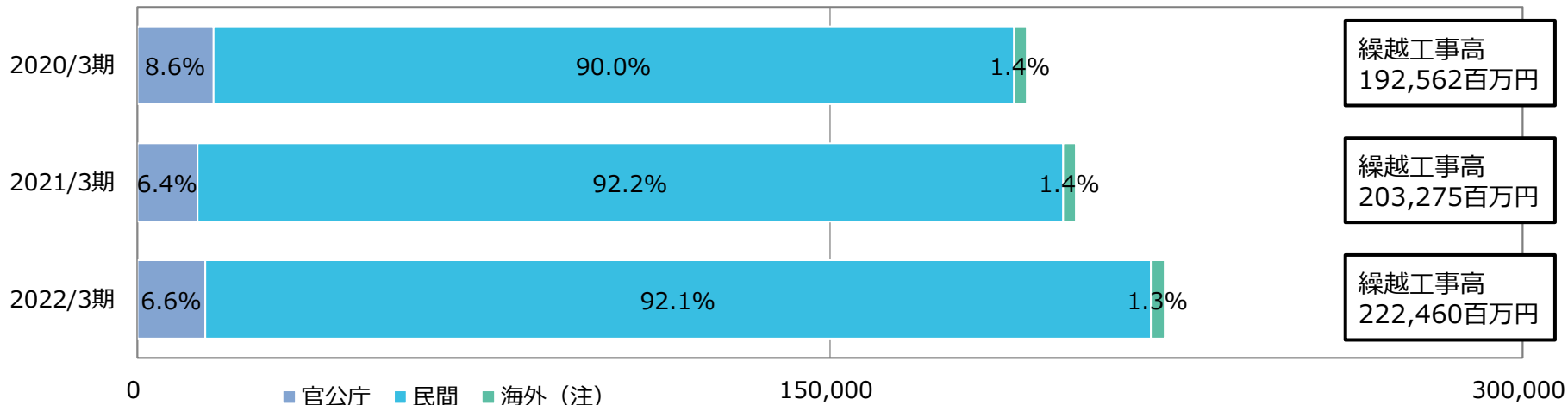
(注) 当社国際G事業統括部のみの数値、海外は現地法人（連結子会社）を中心に展開している。

## 用途別



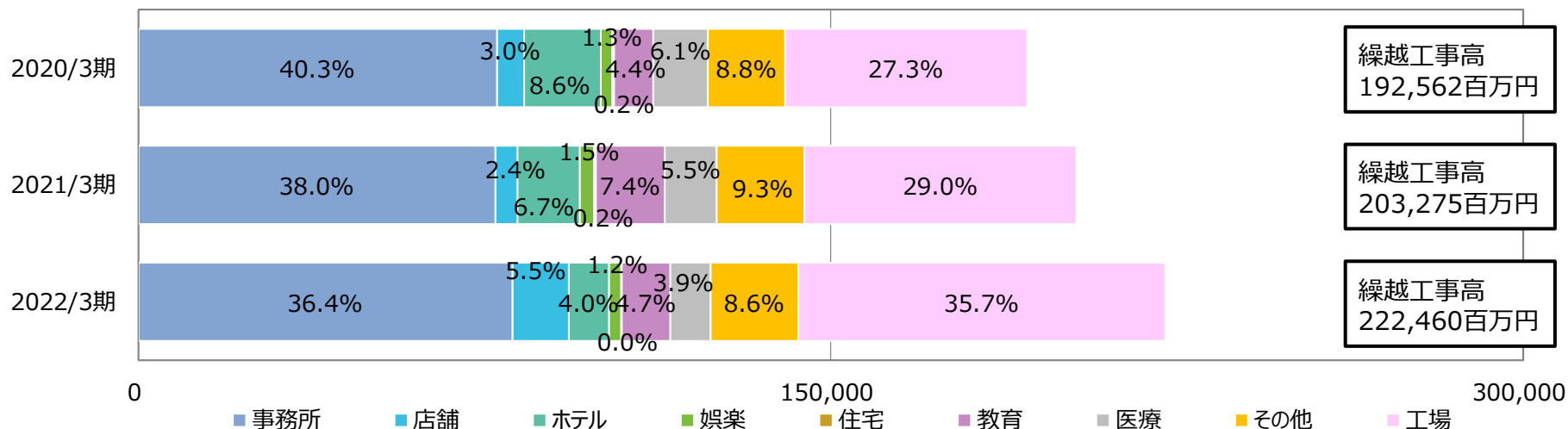
# 繰越工事高内訳（個別）

## 官公庁・民間・海外



(注) 当社国際G事業統括部のみの数値、海外は現地法人（連結子会社）を中心に展開している。

## 用途別





## 経営成績/工事種類別受注・完成工事高

### 設備投資

(単位：百万円)

	2021/3期	2022/3期
連結	4,422	<b>2,552</b>
個別	3,887	<b>2,162</b>

### 減価償却費（固定資産）

(単位：百万円)

	2021/3期	2022/3期
連結	1,537	<b>1,739</b>
個別	832	<b>968</b>

### 研究開発費

(単位：百万円)

	2021/3期	2022/3期
連結	889	<b>1,150</b>
個別	793	<b>1,055</b>

### 元請負・下請負比率（受注）

(単位：%)

		2021/3期	2022/3期
個別	元請負	50.4	<b>51.2</b>
	下請負	49.6	<b>48.8</b>

### 当期受注かつ当期完成比率（完成工事高）

(単位：%)

	2021/3期	2022/3期
個別	37.2	<b>37.3</b>

### 期末従業員数

(単位：名)

	2021/3期	2022/3期
連結	5,890	<b>6,018</b>
個別	2,116	<b>2,131</b>

## 将来予測に関する注意事項

**この資料に掲載してある将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。**

**このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。**

## IRに関するお問い合わせ先

**高砂熱学工業株式会社**

**財務・IR統括部 コーポレート・コミュニケーション室 中村、平木**

**〒160-0022 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア12階**

**TEL : 03-6369-8215 FAX : 03-6369-9103**

**メールアドレス :**

**isao\_nakamura@tte-net.com; terumasa\_hiraki@tte-net.com**